

# さっぽろのお財布

私が解説します！



市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、決算や予算の執行状況を毎年公表しています。このページでは、令和4年度の決算の概要や財政状況をお知らせします。

詳細 企画調査課 ☎211-2216

## 令和4年度決算の状況



まずは決算の状況を見ていきます

### 一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

### 歳入から歳出を差し引いた収支は110億円の黒字です

予算の見込みに比べて市税などの歳入が増えたことにより、黒字収支を維持しています。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

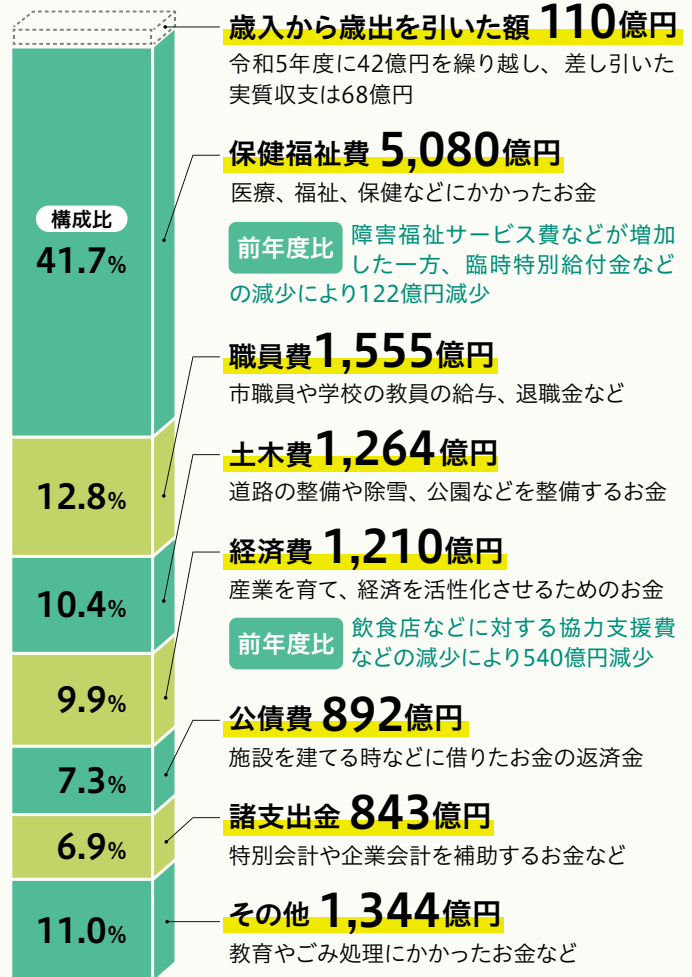
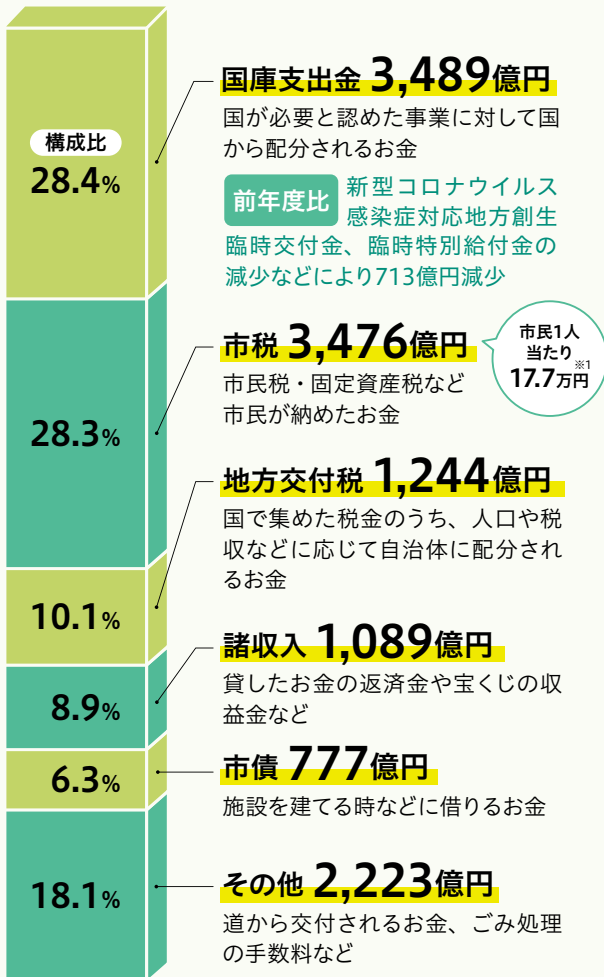
市民1人  
当たり<sup>※1</sup>  
61.9万円

歳入総額 **1兆2,298億円**

前年度比694億円減 (5.3%減)

歳出総額 **1兆2,188億円**

前年度比662億円減 (5.2%減)



※1 令和5年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

## 特別会計

一般会計と区別が必要な事業の会計

## 8つある特別会計は いずれも赤字はありませんでした

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きなどが一致しないところがあります

国民健康保険料などは一般会計とお財布を別にして、収入と支出を確認しやすくしています



区分	歳入	歳出	差し引き	区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	3.6億円	3.6億円	0億円	後期高齢者医療	307億円	294億円	13億円
駐車場	1.4億円	1.4億円	0億円	介護保険	1,615億円	1,588億円	27億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	3.2億円	2.7億円	0.5億円	基金	30億円	21億円	10億円
国民健康保険	1,819億円	1,818億円	1億円	公債	3,554億円	3,554億円	0億円

## 企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

## 収益的収支<sup>※1</sup>は、6つある企業会計のいずれも 赤字はありませんでした

※1 企業の経営活動に伴って生じる全ての収益と費用

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きなどが一致しないところがあります

	市立 札幌病院	中央卸売 市場	路面電車	地下鉄	水道	下水道
主な 建設改良 事業	老朽化した設備や、 医療機器の更新	老朽化に伴う市場 設備の更新、改修 工事	電車事業所改良建 築工事、低床車両 と除雪車両の製造	エレベーターやエ スカレーター、東豊 線信号保安装置の 更新工事	施設、水道管路の 更新や耐震化	老朽化した管路や 施設の改築、雨水 対策、地震対策
収益的収支	収入 252億円 -) 支出 250億円 2億円	収入 25億円 -) 支出 23億円 1.4億円	収入 15億円 -) 支出 14億円 0.7億円	収入 468億円 -) 支出 400億円 68億円	収入 459億円 -) 支出 352億円 107億円	収入 501億円 -) 支出 485億円 16億円
資金の状況	24億円の 資金残 <sup>※2</sup>	13億円の 資金残	6億円の 資金残 <sup>※3</sup>	10億円の 資金残	164億円の 資金残 <sup>※4</sup>	65億円の 資金残
赤字の累積額	36億円	46億円	9億円	2,026億円	なし	なし

※2 一般会計からの長期借入金25億円を含む ※3 一般会計からの長期借入金6億円を含む ※4 水道施設更新積立金96億円を含む

## 資産

### 基金

特定の事業や、財源が不足したときに使う貯金

- 残高…5,146億円
- 財政調整基金314億円など
- 24基金

### 財産

公園や学校などの公有財産や物品、債権

- 公有財産…土地5,534万㎡、建物(延べ面積)585万㎡、有価証券14億円、出資による権利150億円
- 物品(100万円以上のもの)…5,587点(台)
- 債権(民間への貸付金など)…32億円

## 市債

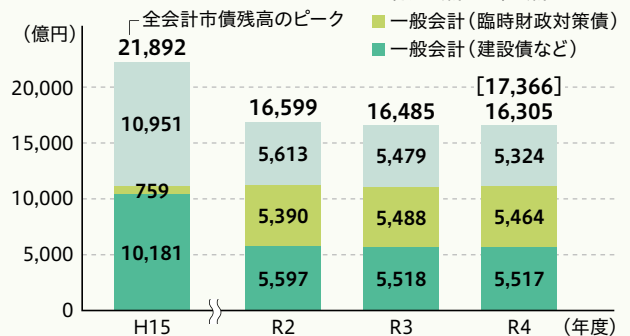
### 市債残高の全会計合計は減少

市の借金である市債の残高は1兆6,305億円となり、前年度と比べて1.1%減少しました。市のまちづくりの計画であるアクションプラン2019で見込んでいた額を下回っています。



市債残高は  
2年連続で減少しています

### 市債残高の推移



※[ ]内はアクションプラン2019での見込み

※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないところがあります

## 財政の特徴

財政状況を示す「健全化判断比率」は良好な水準です。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状況が続いており、油断はできません。

### 健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	健全基準*
<b>実質赤字比率</b> 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
<b>連結実質赤字比率</b> 全ての会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
<b>実質公債費比率</b> 年間の借金返済額の割合	2.9%	25%
<b>将来負担比率</b> 将来の負担となる借金などの割合	21.8%	400%

※この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要となります

### 自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

財政力指数(高い方が健全)

0.723

標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

政令市20都市中17位  
政令市平均0.836

### 定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

経常収支比率(低い方が健全)

94.9%

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

政令市20都市中7位  
政令市平均96.0%

## 市の財政の長期的な見込みと取り組み

### 今後の財政運営は?

中長期的に持続可能な財政構造への転換を進めていくため、財政基盤の強化を図るとともに、財産の戦略的な活用が必要です。

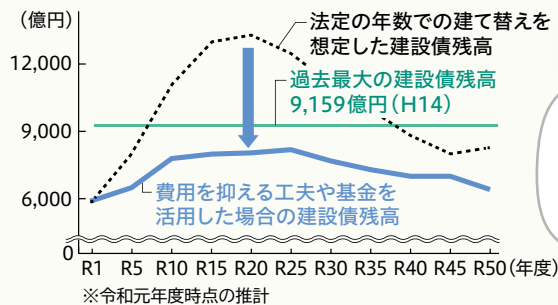
- 子育て支援やまちのリニューアルなどへ積極的に予算を配分しながら、各事業の見直しを進め、めりはりのある財政運営を行う
- 将来に過度な負担を残さないよう、市債の適切な管理を行うとともに、市税などの収納対策や経済活性化により収入を増やし、財政基盤を強化
- 今後もまちづくりの取り組みを進めるため、基金を活用するとともに、不測の事態への備えも含めて適正な基金残高の水準を維持

### 重点的な取り組み

公共施設の更新の必要性に対応して建て替え費用を抑制

- 建物を長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総量を抑制

#### ■建設費に充てられる市債(建設債)残高の見通し



1970年代に急速に成長した札幌は建物の更新時期も集中しています。そのため、費用を抑える工夫が必要です

### 令和5年度予算の執行状況

※令和5年9月30日現在。各項目・区分ごとに四捨五入しています

#### 一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆2,741億円	37.3%	38.3%

#### 特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,849億円	36.5%	39.3%
介護保険	1,666億円	40.6%	40.9%
その他	342億円	35.5%	30.1%

#### 市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆1,071億円	8億円	5,097億円

#### 企業会計(収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	260億円	42.0%	259億円	49.1%
中央卸売市場	23億円	42.9%	21億円	43.5%
路面電車	14億円	18.4%	17億円	16.2%
地下鉄	491億円	47.6%	429億円	20.9%
水道	461億円	48.0%	369億円	40.2%
下水道	509億円	39.5%	507億円	17.1%

基金残高 5,146億円

一時借入金残高 97億円(市立札幌病院、路面電車、地下鉄、下水道)

市の財政の詳細のほか、本年度の予算の執行状況は、ホームページでご覧になれます

札幌市の財政 検索